取扱説明書 保管用

屋外用ＬＥＤスポットライト
（防雨型.スパイク式）
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や光源ユニットの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品　名	光源ユニット	適合電圧
AD-2434-N	Power LED 2.6W×7灯(ナロー配光・白色)	AC100V～240V(±6%)
AD-2434-L	Power LED 2.6W×7灯(ナロー配光・電球色)	
AD-2435-N	Power LED 2.6W×7灯(ミディアム配光・白色)	
AD-2435-L	Power LED 2.6W×7灯(ミディアム配光・電球色)	

※1回路の最大接続台数は30台(200V時･･･60台)までです。
30台(200V時･･･60台)を超える場合は別途ご相談下さい。

この取扱説明書のマークについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

● 取り付け　取り扱い上の注意

スパイク式
●スパイクは土壌のしっかりした所へ設置してください。
●砂地などの土壌の柔らかい場所に設置する場合は、コンクリート等でスパイクの埋め込み部分を補強してください。
●G.Lまで埋め込んでしっかり固定してください。

⚠警告

❗ 傷んだコード（被覆の傷や芯線の露出など）はそのまま使用せず、ただちに電気店に交換をご依頼ください。
★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因となります。

❗ LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意ください。

🚫 一般屋外用器具(防雨型)です。
振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接地帯(塩害地域)では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 次のような場所には取り付けないでください。
○地中差し込み以外の場所　○地盤の弱い場所　○雨水等が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
○浴室などの湿気の多い場所への使用。　○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 設置の際は垂直以外の向きに取付けないでください。
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。また器具の転倒や破損、焼損の原因となります。

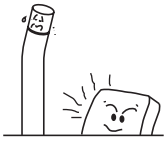
🚫 濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

❗ ＡＣ100Ｖ～240Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖ～240Ｖ(定格電圧±6%)の電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100V～240V)以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。



❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、光源ユニット寿命短縮の原因となります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や、破損の原因となります。

🚫 ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

● 使用上の注意

⚠ 注意

⃠ 照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。（JIS C8105-1 解説による）

❗ LED光源にはバラつきがある為、同一品名商品でも色・明るさが異なる場合がございます。予め御了承ください。

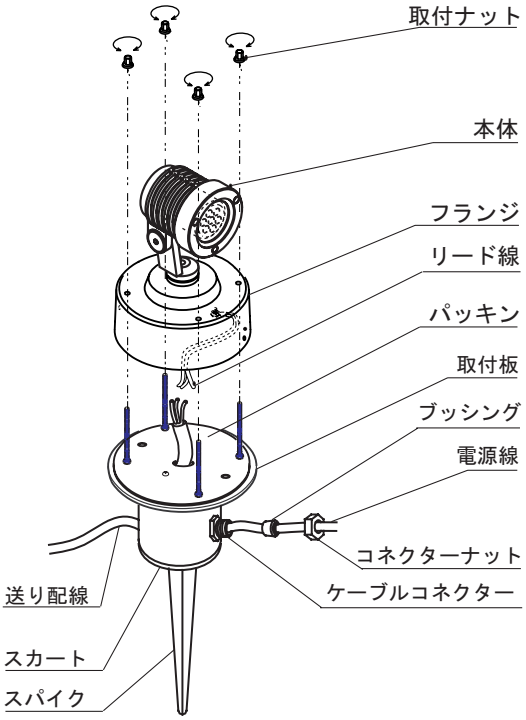
❗ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予め御了承ください。

❗ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動により ちらつく事があります。予め御了承ください。

● 各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。）

■ 器具構成図

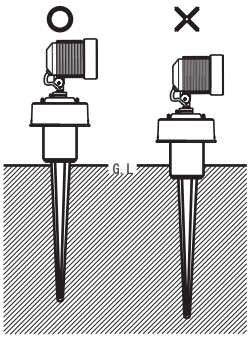


■ 付属品

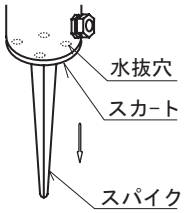
- 自己融着テープ ―― 2枚
- A.B記号表示位置
  ブッシングA ―― 2個
  3芯2PNCT
  仕上げ外径10.5mm～11.5mm用
- ブッシングB ―― 2個
  3芯2PNCT
  仕上げ外径13.0mm用
- ブッシング ―― 1個
  穴なしタイプ
- 六角レンチ（M6用） ―― 1本
- 取扱説明書（本書） ―― 1枚
- 保証とアフターサービスについて －1枚

● 取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

1、スパイクを取り付けます。(図1)
スカートとG.Lとの隙間が約10mm～20mm程度になるまで
埋め込んでしっかり固定してください。(図2)
器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。



(図1)



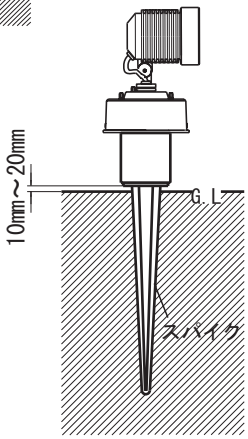
⚠ 警告 ❗ しっかりと埋め込まれたかを確認してください。

❗ スカートより上まで埋め込まないでください。
★埋め込みすぎた場合、器具の機能を損ない、
故障の原因となります。

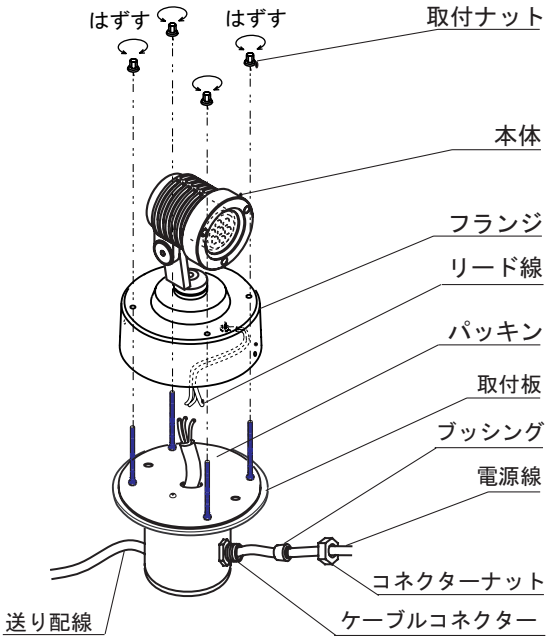
⚠ 注意 ❗ 土壌のしっかりした所へ取付けてください。
砂利等の土質の柔らかい場所に埋め込む場合は、
コンクリート等でスパイク部を固定してください。
★土質の柔らかい場所や不安定な所へ埋め込むと
器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。

⃠ 本体を開けないでください。
★防水性が損なわれ、漏電・感電の原因となります。

(図2)



(図3)

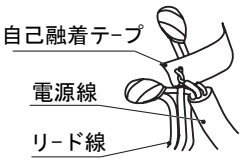


2、フランジにセットされている4ヶ所の取付ナットをはずして
ください。(図3)

3、電源線・アース線を接続します。(図3)
・セットされているコネクターナット、ブッシングをはずします。
・電源線をケーブルコネクターに通し、パッキンと取付板の中央
から電源線を引き出し、リード線と結線します。
＊裸線が見えない様に、自己融着テープでしっかりと
巻付けた上、絶縁テープを巻いてください。(図4)
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。
・送り配線をする場合は、同様に配線用の電線を引き込み固定
してください。
❗送り配線しない場合は、片側のケ-ブルコネクターに穴無し
ブッシングを、必ずセットしてください。
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。

＊必ずD種（第三種）接地工事を施してください。
D種（第三種）接地工事は、電気設備技術基準に従って確実に
行ってください。
★接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。

(図4)



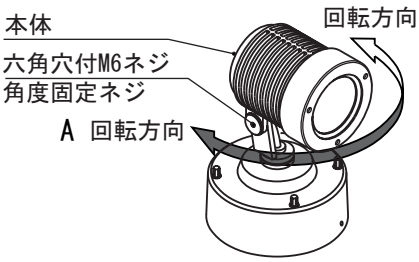
❗電源線は3芯キャブタイヤケ-ブルΦ10.5～13.0(2PNCT)を必ず
使用してください。他の電源線は使用できません。
★防水性が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
・電源線外径にあったブッシングに電源線を通します。

ブッシングA：3芯2PNCT(1.25～2mm²)	仕上げ外径10.5mm～11.5mm用
ブッシングB：3芯2PNCT(3.5mm²)	仕上げ外径13.0mm用

＊ブッシングA 2個は、ケ-ブル
コネクタ-にセット済みです。

・ケーブルコネクターにブッシングを押し入れ
コネクタナットを締め込みます。
★確実に施工してください。浸水の原因となります。

4、本体を取付板にセットし、取付ナットを工具でしっかり
締め付け固定してください。(図3)
⚠ 警告 ❗本体と取付け面に隙間が出ない様、しっかり
締め付けてください。
★締め付けが弱かったり、隙間があると
感電、漏電や器具落下による器具その他の
破損やケガの原因となります。



(図5)

5、任意の照射方向に器具を合わせてください。
A方向に回転する場合は、本体をまわしてください。(図5)
首振り方向は、角度調節をして角度固定ネジを締め込んでください。
⃠照射距離は照射物より10cm以上離してください。

●スイッチ操作

壁スイッチにてＯＮ-ＯＦＦ操作を行います。

● お手入れについて ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● 1年に1回はお手入れを行い、異常が無いか点検をしてください。
また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼してください。
★点検を行なわずに長時間使用し続けますとまれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。

● こまめに清掃を： 照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

❗● お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから行ってください。
★感電事故の原因となります。

🚫● シンナ−やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ−などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■光源ユニットの交換

⚠注意 ❗ 本製品は、構造上お客様にて光源ユニットを交換することができません。
メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サ−ビス受付窓口までご相談ください。

■ お手入れのしかたについて

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■ アフター−サ−ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サ−ビス受付窓口にご相談ください。